

資料

明治初期の長崎の英字新聞記事に見る在日外国人医師名

石田純郎

明治初期のお雇い外国人医師についての調査をする際に困る事は、国の内外における基礎資料の乏しさである。

先日兵庫で発行された英字新聞から、医師に関係のある名前をぬき出し發表した。⁽¹⁾

長崎県立図書館にも明治初期のローカル英字新聞が保存されている事を知り、今回それから名前を収録する事が出来た。

The Nagasaki Express は、週刊で一八七〇年一月に創刊され、長崎県立図書館には第五号より一八七四年五月三〇日の第二二九号迄保存されている。A三版で毎号四〜八頁である。大浦外人居留地向けに、ポルトガル人フィロメリ⁽²⁾、プラガにより発行された。その後経営者が変わり、題号も改められた。

体裁は The Higo News によく似ており、形式・カットの絵も類似している。主な記事としては、貿易や商業に関するものではあるが、当時長崎港を発着した客船の乗客名簿も掲載されており、それが我々の注意をひく。

別表の如く、その中には少なからず、医療関係者の名前がみえる。大勢の一船乗客の中より医師を選び出す基準としては、Dr. のついている者、その家族、親戚、その当時の在日外国人医師名とよく似ている者を取り上げた。従って一人一人の医師の履歴と照合したわけではないので、同名異人の混入、医師以外の博士の混入もあると考えられる。又名簿で Dr. をつけ忘れた医師の遺漏も考

長崎港発着の外国人医師（含家族）名

名 前	船 名	乗船地又は下船地	日 時
Mr. A.J. Bauduin ⁽³⁾	オレゴニアン	横浜、兵庫から	1870. 4. 22
Dr. J.R. Carmichael	ゴールドンエイジ	サンフランシスコへ	7. 15
Dr. G.F. Parker	ゴールドンエイジ	サンフランシスコへ	8. 16
Dr. Wagener	ニューヨーク	横浜へ	8. 22
Dr. Reid	オレゴニアン	横浜へ	9. 2
Dr. W. Dean and daughter	ニューヨーク	上海へ	10. 15
Dr. Reid	ニューヨーク	上海へ	10. 15
Dr. Ugo Pisa(イタリア公使館)	ニューヨーク	横浜へ	10. 25
Dr. Geo Newton	ニューヨーク	横浜、長崎から	11. 7
Dr. J. Martin	ニューヨーク	上海へ	12. 4
Geerts	ニューヨーク	兵庫へ	12. 11
Dr. J. Martin	オレゴニアン	上海から	12. 16
Dr. van Mansvelt ⁽⁴⁾	ゴールドンエイジ	兵庫へ	1871. 2. 21
Dr. van Mansvelt and servant	アリエル	上海へ	4. 10
Dr. Taylor Messrs Taylor	ゴールドンエイジ	サンフランシスコへ	4. 29
Dr. van Mansvelt and servant	オレゴニアン	上海から	5. 6
Dr. Kratamer ⁽⁵⁾	ゴールドンエイジ	上海へ	5. 12
Dr. W. Reid	アリゾナ	横浜へ	8. 15

名 前	船 名	乗船地又は下船地	日 時
Dr. Dyer	ニューヨーク	上海から	9. 14
Dr. Dyer	オレゴニアン	上海へ	9. 19
Dr. Willis and servant	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	1872. 3. 9
Mesers A.J. Bauduin and servant	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	3. 9
Dr. Duke	オレゴニアン	横浜へ	9. 8
Dr. Massais and servant	オレゴニアン	上海へ	10. 9
Dr. K. McCarty	オレゴニアン	上海へ	10. 9
Dr. C.L. Fisher	コスタリカ	上海から	10. 14
Dr. Willis and servant	アリエル	横浜へ	1873. 1. 17
Dr. Willis	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	2. 2
Dr. R.J. Sloane	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	3. 4
Messers J. van der Heyde	ゴールデンエイジ	サンフランシスコへ	3. 29
Dr. S.F. Bliss	オレゴニアン	上海へ	5. 2
Dr. Sloan	ゴールデンエイジ	横浜, 兵庫から	5. 14
Dr. W.St. Georgo Elliot	ニューヨーク	横浜, 兵庫から	5. 21
Dr. W.C. Eastlack	ゴールデンエイジ	サンフランシスコへ	5. 30
Dr. Legge	ニューヨーク	サンフランシスコへ	6. 6
Dr. Gates	ニューヨーク	上海へ	6. 22
Dr. Antisue and servant	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	7. 3
J.L. Ruyter	ゴールデンエイジ	横浜, 兵庫から	7. 16
Dr. Carmichael	ゴールデンエイジ	上海へ	7. 17
Dr. P.E. Galle	ニューヨーク	横浜へ	7. 19
Dr. Wolfram	ニューヨーク	米国へ	7. 19
Dr. Beukema and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	8. 6
A. J. Bauduin and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	8. 6
Miss de Ruyter and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	8. 6
Miss Toe Water and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜, 兵庫から	8. 6
Dr. Gottbing	エデン	上海から	8. 7
Dr. Ayers	ニューヨーク	横浜, 兵庫から	8. 14
Dr. Waugh	ニューヨーク	上海へ	8. 15
Dr. Garland	コスタリカ	横浜へ	8. 15
Dr. G.W. Burton	コスタリカ	サンフランシスコへ	8. 15
Miss de Ruyter and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜へ	8. 22
Miss Toe Water and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜へ	8. 22
Dr. T.U. Beukema and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜へ	8. 22
Messers A.J. Bauduin and servant ⁽⁶⁾	オレゴニアン	横浜へ	8. 22
Dr. Delavan Bloodgood	ニューヨーク	横浜へ	8. 30
Dr. R. Caldwell	コスタリカ	横浜, 兵庫から	8. 31
Dr. Vinceicte Epolonduro	ニューヨーク	上海へ	9. 16
Dr. A. Geerts	オレゴニアン	兵庫へ	9. 23
Dr. C. Vrooman	ニューヨーク	上海から	9. 29
Dr. A. Geerts	コスタリカ	横浜, 兵庫から	10. 3

名前	船名	乗船地又は下船地	日時
Dr. S.R. Brown	ニューヨーク	上海へ	10. 15
Dr. F. von Haupt	ニューヨーク	上海へ	10. 15
Prof. J.C. Randolph	ニューヨーク	上海へ	10. 15
Dr. Geerts	ゴールドデンエイジ	兵庫へ	12. 14
Dr. D. Dickenson	コスタリカ	上海から	1874. 1. 1
Dr. D. Dickenson	コスタリカ	横浜へ	1. 1
Dr. Gates	コスタリカ	上海から	2. 18
Dr. C.L. Fisher	ニューヨーク	横浜へ	3. 1
Dr. Simmans	ニューヨーク	横浜へ	3. 1
Dr. Janieson and wife	ゴールドデンエイジ	上海へ	3. 8
Dr. A.H. Kelly	ゴールドデンエイジ	上海から	3. 7
Dr. C.L. Fisher	コスタリカ	横浜、兵庫から	3. 19
Dr. J.E. Painter	アカンサ	横浜、兵庫から	4. 8
Dr. A.O. Treat	ゴールドデンエイジ	米国へ	4. 14
Dr. Coombe	アカンサ	横浜へ	4. 21
Dr. G.R. Hall	コスタリカ	上海から	5. 2
Dr. Wickoff	ゴールドデンエイジ	上海へ	5. 5
Dr. Paul	シャフテスベリー	上海から	5. 7
Dr. H.P. Harvey	アカンサ	上海から	5. 22

日時は乗船又は下船の時点のもの（太陽暦）

えられる。明らかな誤植と思われる綴りの誤りもそのまま記録した。

文献及脚註

- (1) 石田純郎 資料 明治初期の兵庫のローカル英字新聞記事に見る在日外国人医師名 日本医史学雑誌 第二九巻 七〇頁〜七一頁、一九八三
- (2) プラガは兵庫でも The Higo News を経営していた。従って両者の体裁が似ていても不思議はない。
- (3) A・Fボードインの弟で、当時の在日オランダ領事
- (4) ザ・ヒョーゴ・ニュースでは、二月二十五日頃にゴールドデンエイジで Dr. Maanvelt が兵庫港で下船したとの記録があり、ザ・ヒョーゴ・ニュースの誤植と考えられる。
- (5) ザ・ヒョーゴ・ニュースでは Dr. Garatama が五月一日頃ゴールドデンエイジで兵庫港から上海へ向ったとの記録があり、Garatama の誤植と考えられる。尚この日時がハラタマの離日した日時と考えられる。
- (6) 日本医史学雑誌第二八巻三二八頁、お雇いオランダ人医師 総論 ボードイン人脈でも触れたが、ロイトルとツワールテルは、一八七二年六月から一八七四年秋迄、東京の開拓使仮学校女学校で英語教師をつとめた同僚である。またロイトルは、在日オランダ領事A Jボードインの姪である。ツワールテルは一八七四年にブツケマと結婚しており、この四名は互いに親しかったと思われる。